

道徳教育

目標

本校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲や態度などの道徳性を養う。

努力点

学級経営（学級づくり）の充実を図る。

人間尊重の精神を育てる。

基本的な生活習慣の指導に力を入れる。

総合単元的な道徳の学習の研究を進める。

道徳の授業を充実する。

道徳の時間の指導を充実させるための留意点

子どもの姿をとらえる

- ・ 諸活動、休み時間等の子どもの実態をつかむ。
- ・ 日記や作文等から子どもの考えを知る。
- ・ 道徳の時間での子どものつぶやきをとらえたり、表情を読み取ったりするようにつとめる。

適切な資料を選択する

- ・ 多様な考えを引き出せる教材を与える。
- ・ ねらいとする価値が同じであれば、次表の教材例にこだわらず、子どもの実態に合ったものを与える。

指導方法を工夫する

- ・ 心情を養うのか、判断力をつけるのか、態度化を図るのかねらいを明確にする。
- ・ 中心場面や葛藤場面をしっかりと把握しておく。
- ・ 教材の提示の仕方や役割演技、動作化、ワークシートなど、発達段階を考慮しながら、指導の工夫につとめる。